令和元年度　「世界とつながる島根づくり助成金」交付事業一覧

①事業概要 ②実施場所 ③実施時期 ④助成額 ⑤その他

整理番号	事業名	団体名	概要
1	日本語教育事業	出雲日本語ネットワーク	①地域で日本教室を開講し、学習者の希望に沿った日本語指導を行い、日本人と外国人及び外国人同士の相互理解に努めた。 ②出雲市 ③通年 ④60,000円 ⑤各レベルにあわせた個別指導を行っているが、学習者の参加人数に変動が大きく、それにボランティアの人数を対応させていくのが難しい。しかし、日本語能力だけでなく、各国相互の文化等の理解の向上が図れた。
2	日本語で話そう 教室活動と異文化交流事業	マリントークの会	①地域で日本語教室を開講し、日本語指導や交流活動を行った。また、指導者育成のための勉強会を開催した。 ②浜田市 ③通年 ④93,000 円 ⑤教室活動は充実した内容で、試験に合格する学習者もいる。ただ、学習者の急増で、会員の育成が急務となっている。研修の他、島根県立大学の学生にも参加を働きかけたい。また、会場確保が難しく、毎週同じ場所で授業ができない現状は変わらない。
3	在住外国人と地域住民の日本語交流活動	日本語教室グループ「あいうえお」	①地域で日本語教室を開講し、日本語指導の他、交流イベントを開催した。 ②隠岐の島町 ③通年 ④107,000 円 ⑤学習者は周囲から日本語学習の成果が認められ、学習への意欲や励みになっている。活動全般において少数の会員が中心となっているが、「県民いきいき活動奨励賞」の受賞を励みに、今後も活動を維持・継続できるよう一層努力していきたい。
4	中国寧夏からの芸能団受入れ事業	特定非営利活動法人日本寧夏友好交流協会	①寧夏の北方民族大学音楽舞踊学院の学生達を招き、松江市内で芸能交流等を行った。また東京でも東京島根県人会で舞踊等を披露し会員と交流した。 ②松江市、東京 ③8月28日～9月1日 ④100,000円 ⑤ハードなスケジュールで訪問団には申し訳なかった。また年少者との交流もできればよかったと思う。費用も嵩むので毎年の実施は難しいが、3～4年おきに相互に派遣・受入ができればいいと考えている。
5	日本語教室	日本語ボランティアゆうわ	①地域で日本語教室を開講し、日本語指導や学習者が日本の伝統文化に触れる交流活動を行った。 ②出雲市 ③通年 ④148,000 円 ⑤設立20周年を迎え、新しい学習者に加え、長期継続の学習者も増えてきている。生活のための日本語からさらに高いレベルの内容をというニーズもあるが、上級クラスに対応できる会員を増やすことが十分できなかった。また、新型コロナウィルス感染防止対策のため3月は活動を休止したが、例えばオンライン学習を利用する活動の研究も将来に向けて必要かと考えている。

整理番号	事業名	団体名	概要
6	FLOWプロジェクト	FLOWプロジェクト実行委員会	①アイスランドとベルギーから3名のアーティストを招き、作品の展示だけでなく、松江では食文化や母国の紹介、出雲ではアーティストが藍染め体験した布でアイスランドのハーブを使用した匂い袋を作るワークショップなどを行い参加者との交流を行った。 ②松江市、出雲市 ③10月28日~11月4日 ④74,000円 ⑤アーティストと参加者が言葉の壁を越えて積極的なコミュニケーションを取ったことで、交流後にはSNSで繋がりを持つことにもなった。それは人間性豊かなアーティストが特異な視点と創造性を持ち発信し続けている人だからこそで、その意味において、芸術を介しての国際交流には多くの可能性があると感じた。
7	（公社）松江青年会議所	ベトナムフェスティバル	①ベトナムハノイ青年会議所との姉妹交流を期に、松江市内でベトナム人を中心とした外国人との交流事業と異文化理解の促進のため「ベトナムフェスティバル」を野外で企画したが、前日の天候判断でやむを得ず中止に至った。 ②松江市 ③10月29日 ④92,000円 （事前準備にかかった対象経費を精査し交付した。） ⑤多くの方に関心を持っていただいたイベントであった。松江においてベトナム人が増加傾向にあることから市民の理解を得る場の必要性、松江や近隣に暮らすベトナム人コミュニティの強化に寄与することから、このイベントは重要な役割を果たすと考えている。来年度も実施を検討したい。